

機能診断業務（施設機械）の積算参考歩掛について（平成24年3月20日付け23農振第2864号農村振興整備部長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後	現 行																																								
別 紙	別 紙																																								
<p>機能診断業務（施設機械）の積算参考歩掛</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 機能診断歩掛の適用</p> <p>3-1・3-2 [略]</p> <p>3-3 作業項目 機能診断に係る作業項目毎の作業内容は次表のとおりとする。 【水門設備】</p>	<p>機能診断業務（施設機械）の積算参考歩掛</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 機能診断歩掛の適用</p> <p>3-1・3-2 [略]</p> <p>3-3 作業項目 機能診断に係る作業項目毎の作業内容は次表のとおりとする。 【水門設備】</p>																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">作業項目</th> <th style="text-align: center;">作業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前調査</td> <td>設備の状況や問題点等を把握するために、関係機関から事前に既存資料収集や聞き取り調査等を行う。これにより、現地での機能診断調査項目を決定し、健全度評価や劣化対策等に必要となる情報を収集・整理する。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。</td> </tr> <tr> <td>概略診断 機能診断評価（健全度評価）</td> <td>概略診断調査の結果により、部位毎及び設備全体の健全度評価を行い、詳細診断調査の必要性を判断する。</td> </tr> <tr> <td>詳細診断 機能診断評価（健全度評価）</td> <td>詳細診断調査の結果による部位毎の健全度評価、余寿命予測に基づき、設備の健全度評価を行う。</td> </tr> <tr> <td>機能保全対策の検討 性能低下予測</td> <td>設備を構成する装置・部位毎に対策が必要となる時期や方法を比較検討するとともに、設備全体としての対策実施の要否、その時期を明らかにすることを目的として実施する。劣化特性や劣化予測の把握の可否を十分に踏まえて将来予測(余寿命予測)を行う。</td> </tr> <tr> <td>機能保全対策の検討</td> <td>機能診断評価結果を踏まえ、当面必要となる機能保全対策を検討する。劣化傾向等を予測し、将来的な劣化対策を検討する。</td> </tr> <tr> <td>対策実施シナリオの作成</td> <td>今後必要となる対策の時期、内容等を予測して、機能保全コストを算出するために対策範囲・工法とその実施時期の組合せを検討する。</td> </tr> <tr> <td>機能保全コストの算定</td> <td>各種診断結果による機能保全コストとして、①当面の整備に必要な費用、②今後の更新等に必要な費用（想定）、③定期点検に必要な費用を合算し算定する。</td> </tr> <tr> <td>機能保全計画の策定</td> <td>施設機能の維持、対策実施の合理性、設備重要度との適合性、維持管理の容易さ等を総合的に勘案し機能保全計画を策定する。</td> </tr> <tr> <td>農業水利ストック情報データの<input style="color: red;" type="text" value="入力及び登録"/></td> <td><u>上記の作業において作成した資料により</u>農業水利ストック情報データベースの<input style="color: red;" type="text" value="入力及び登録を行う。"/></td> </tr> </tbody> </table>	作業項目	作業内容	事前調査	設備の状況や問題点等を把握するために、関係機関から事前に既存資料収集や聞き取り調査等を行う。これにより、現地での機能診断調査項目を決定し、健全度評価や劣化対策等に必要となる情報を収集・整理する。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。	概略診断 機能診断評価（健全度評価）	概略診断調査の結果により、部位毎及び設備全体の健全度評価を行い、詳細診断調査の必要性を判断する。	詳細診断 機能診断評価（健全度評価）	詳細診断調査の結果による部位毎の健全度評価、余寿命予測に基づき、設備の健全度評価を行う。	機能保全対策の検討 性能低下予測	設備を構成する装置・部位毎に対策が必要となる時期や方法を比較検討するとともに、設備全体としての対策実施の要否、その時期を明らかにすることを目的として実施する。劣化特性や劣化予測の把握の可否を十分に踏まえて将来予測(余寿命予測)を行う。	機能保全対策の検討	機能診断評価結果を踏まえ、当面必要となる機能保全対策を検討する。劣化傾向等を予測し、将来的な劣化対策を検討する。	対策実施シナリオの作成	今後必要となる対策の時期、内容等を予測して、機能保全コストを算出するために対策範囲・工法とその実施時期の組合せを検討する。	機能保全コストの算定	各種診断結果による機能保全コストとして、①当面の整備に必要な費用、②今後の更新等に必要な費用（想定）、③定期点検に必要な費用を合算し算定する。	機能保全計画の策定	施設機能の維持、対策実施の合理性、設備重要度との適合性、維持管理の容易さ等を総合的に勘案し機能保全計画を策定する。	農業水利ストック情報データの <input style="color: red;" type="text" value="入力及び登録"/>	<u>上記の作業において作成した資料により</u> 農業水利ストック情報データベースの <input style="color: red;" type="text" value="入力及び登録を行う。"/>	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">作業項目</th> <th style="text-align: center;">作業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前調査</td> <td>設備の状況や問題点等を把握するために、関係機関から事前に既存資料収集や聞き取り調査等を行う。これにより、現地での機能診断調査項目を決定し、健全度評価や劣化対策等に必要となる情報を収集・整理する。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。</td> </tr> <tr> <td>概略診断 機能診断評価（健全度評価）</td> <td>概略診断調査の結果により、部位毎及び設備全体の健全度評価を行い、詳細診断調査の必要性を判断する。</td> </tr> <tr> <td>詳細診断 機能診断評価（健全度評価）</td> <td>詳細診断調査の結果による部位毎の健全度評価、余寿命予測に基づき、設備の健全度評価を行う。</td> </tr> <tr> <td>機能保全対策の検討 性能低下予測</td> <td>設備を構成する装置・部位毎に対策が必要となる時期や方法を比較検討するとともに、設備全体としての対策実施の要否、その時期を明らかにすることを目的として実施する。劣化特性や劣化予測の把握の可否を十分に踏まえて将来予測(余寿命予測)を行う。</td> </tr> <tr> <td>機能保全対策の検討</td> <td>機能診断評価結果を踏まえ、当面必要となる機能保全対策を検討する。劣化傾向等を予測し、将来的な劣化対策を検討する。</td> </tr> <tr> <td>対策実施シナリオの作成</td> <td>今後必要となる対策の時期、内容等を予測して、機能保全コストを算出するために対策範囲・工法とその実施時期の組合せを検討する。</td> </tr> <tr> <td>機能保全コストの算定</td> <td>各種診断結果による機能保全コストとして、①当面の整備に必要な費用、②今後の更新等に必要な費用（想定）、③定期点検に必要な費用を合算し算定する。</td> </tr> <tr> <td>機能保全計画の策定</td> <td>施設機能の維持、対策実施の合理性、設備重要度との適合性、維持管理の容易さ等を総合的に勘案し機能保全計画を策定する。</td> </tr> <tr> <td>農業水利ストック情報データの<input style="color: red;" type="text" value="作成"/></td> <td>農業水利ストック情報データベース<input style="color: red;" type="text" value="資料を作成する。"/></td> </tr> </tbody> </table>	作業項目	作業内容	事前調査	設備の状況や問題点等を把握するために、関係機関から事前に既存資料収集や聞き取り調査等を行う。これにより、現地での機能診断調査項目を決定し、健全度評価や劣化対策等に必要となる情報を収集・整理する。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。	概略診断 機能診断評価（健全度評価）	概略診断調査の結果により、部位毎及び設備全体の健全度評価を行い、詳細診断調査の必要性を判断する。	詳細診断 機能診断評価（健全度評価）	詳細診断調査の結果による部位毎の健全度評価、余寿命予測に基づき、設備の健全度評価を行う。	機能保全対策の検討 性能低下予測	設備を構成する装置・部位毎に対策が必要となる時期や方法を比較検討するとともに、設備全体としての対策実施の要否、その時期を明らかにすることを目的として実施する。劣化特性や劣化予測の把握の可否を十分に踏まえて将来予測(余寿命予測)を行う。	機能保全対策の検討	機能診断評価結果を踏まえ、当面必要となる機能保全対策を検討する。劣化傾向等を予測し、将来的な劣化対策を検討する。	対策実施シナリオの作成	今後必要となる対策の時期、内容等を予測して、機能保全コストを算出するために対策範囲・工法とその実施時期の組合せを検討する。	機能保全コストの算定	各種診断結果による機能保全コストとして、①当面の整備に必要な費用、②今後の更新等に必要な費用（想定）、③定期点検に必要な費用を合算し算定する。	機能保全計画の策定	施設機能の維持、対策実施の合理性、設備重要度との適合性、維持管理の容易さ等を総合的に勘案し機能保全計画を策定する。	農業水利ストック情報データの <input style="color: red;" type="text" value="作成"/>	農業水利ストック情報データベース <input style="color: red;" type="text" value="資料を作成する。"/>
作業項目	作業内容																																								
事前調査	設備の状況や問題点等を把握するために、関係機関から事前に既存資料収集や聞き取り調査等を行う。これにより、現地での機能診断調査項目を決定し、健全度評価や劣化対策等に必要となる情報を収集・整理する。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。																																								
概略診断 機能診断評価（健全度評価）	概略診断調査の結果により、部位毎及び設備全体の健全度評価を行い、詳細診断調査の必要性を判断する。																																								
詳細診断 機能診断評価（健全度評価）	詳細診断調査の結果による部位毎の健全度評価、余寿命予測に基づき、設備の健全度評価を行う。																																								
機能保全対策の検討 性能低下予測	設備を構成する装置・部位毎に対策が必要となる時期や方法を比較検討するとともに、設備全体としての対策実施の要否、その時期を明らかにすることを目的として実施する。劣化特性や劣化予測の把握の可否を十分に踏まえて将来予測(余寿命予測)を行う。																																								
機能保全対策の検討	機能診断評価結果を踏まえ、当面必要となる機能保全対策を検討する。劣化傾向等を予測し、将来的な劣化対策を検討する。																																								
対策実施シナリオの作成	今後必要となる対策の時期、内容等を予測して、機能保全コストを算出するために対策範囲・工法とその実施時期の組合せを検討する。																																								
機能保全コストの算定	各種診断結果による機能保全コストとして、①当面の整備に必要な費用、②今後の更新等に必要な費用（想定）、③定期点検に必要な費用を合算し算定する。																																								
機能保全計画の策定	施設機能の維持、対策実施の合理性、設備重要度との適合性、維持管理の容易さ等を総合的に勘案し機能保全計画を策定する。																																								
農業水利ストック情報データの <input style="color: red;" type="text" value="入力及び登録"/>	<u>上記の作業において作成した資料により</u> 農業水利ストック情報データベースの <input style="color: red;" type="text" value="入力及び登録を行う。"/>																																								
作業項目	作業内容																																								
事前調査	設備の状況や問題点等を把握するために、関係機関から事前に既存資料収集や聞き取り調査等を行う。これにより、現地での機能診断調査項目を決定し、健全度評価や劣化対策等に必要となる情報を収集・整理する。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。																																								
概略診断 機能診断評価（健全度評価）	概略診断調査の結果により、部位毎及び設備全体の健全度評価を行い、詳細診断調査の必要性を判断する。																																								
詳細診断 機能診断評価（健全度評価）	詳細診断調査の結果による部位毎の健全度評価、余寿命予測に基づき、設備の健全度評価を行う。																																								
機能保全対策の検討 性能低下予測	設備を構成する装置・部位毎に対策が必要となる時期や方法を比較検討するとともに、設備全体としての対策実施の要否、その時期を明らかにすることを目的として実施する。劣化特性や劣化予測の把握の可否を十分に踏まえて将来予測(余寿命予測)を行う。																																								
機能保全対策の検討	機能診断評価結果を踏まえ、当面必要となる機能保全対策を検討する。劣化傾向等を予測し、将来的な劣化対策を検討する。																																								
対策実施シナリオの作成	今後必要となる対策の時期、内容等を予測して、機能保全コストを算出するために対策範囲・工法とその実施時期の組合せを検討する。																																								
機能保全コストの算定	各種診断結果による機能保全コストとして、①当面の整備に必要な費用、②今後の更新等に必要な費用（想定）、③定期点検に必要な費用を合算し算定する。																																								
機能保全計画の策定	施設機能の維持、対策実施の合理性、設備重要度との適合性、維持管理の容易さ等を総合的に勘案し機能保全計画を策定する。																																								
農業水利ストック情報データの <input style="color: red;" type="text" value="作成"/>	農業水利ストック情報データベース <input style="color: red;" type="text" value="資料を作成する。"/>																																								

改正後		現行	
照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。
点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。
(注) [略]		(注) [略]	
【用排水ポンプ設備】		【用排水ポンプ設備】	
作業項目	作業内容	作業項目	作業内容
事前調査	設備の状況や問題点等を把握するために、関係機関から事前に既存資料収集や聞き取り調査等を行う。これにより、現地での機能診断項目を決定し、健全度評価や劣化対策等に必要となる情報を収集・整理する。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。	事前調査	設備の状況や問題点等を把握するために、関係機関から事前に既存資料収集や聞き取り調査等を行う。これにより、現地での機能診断項目を決定し、健全度評価や劣化対策等に必要となる情報を収集・整理する。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。
概略診断 機能診断評価（健全度評価）	概略診断調査の結果から、施設機械設備における健全度ランクの区分に基づき、設備・装置・部位の性能低下状態やその要因を把握し、健全度を総合的に判定する。	概略診断 機能診断評価（健全度評価）	概略診断調査の結果から、施設機械設備における健全度ランクの区分に基づき、設備・装置・部位の性能低下状態やその要因を把握し、健全度を総合的に判定する。
詳細診断 機能診断評価（健全度評価） （簡易内部診断）	簡易内部診断の結果から、施設機械設備における健全度ランクの区分に基づき、設備・装置・部位の性能低下状態やその要因を把握し、健全度を総合的に判定する。	詳細診断 機能診断評価（健全度評価） （簡易内部診断）	簡易内部診断の結果から、施設機械設備における健全度ランクの区分に基づき、設備・装置・部位の性能低下状態やその要因を把握し、健全度を総合的に判定する。
機能診断評価（健全度評価）	詳細診断調査の結果から、施設機械設備における健全度ランクの区分に基づき、設備・装置・部位の性能低下状態やその要因を把握し、健全度を総合的に判定する。	機能診断評価（健全度評価）	詳細診断調査の結果から、施設機械設備における健全度ランクの区分に基づき、設備・装置・部位の性能低下状態やその要因を把握し、健全度を総合的に判定する。
機能保全対策の検討 性能低下予測	設備を構成する装置・部位毎に対策が必要となる時期や方法を比較検討するとともに、設備全体としての対策実施の要否、その時期を明らかにすることを目的として実施する。劣化特性や劣化予測の把握の可否を十分に踏まえて将来予測(余寿命予測)を行う。	機能保全対策の検討 性能低下予測	設備を構成する装置・部位毎に対策が必要となる時期や方法を比較検討するとともに、設備全体としての対策実施の要否、その時期を明らかにすることを目的として実施する。劣化特性や劣化予測の把握の可否を十分に踏まえて将来予測(余寿命予測)を行う。
機能保全対策の検討	機能診断評価結果を踏まえ、当面必要となる機能保全対策を検討する。劣化傾向等を予測し、将来的な劣化対策を検討する。	機能保全対策の検討	機能診断評価結果を踏まえ、当面必要となる機能保全対策を検討する。劣化傾向等を予測し、将来的な劣化対策を検討する。
対策実施シナリオの作成	今後必要となる対策の時期、内容等を予測して、機能保全コストを算出するために対策範囲・工法とその実施時期の組合せを検討する。	対策実施シナリオの作成	今後必要となる対策の時期、内容等を予測して、機能保全コストを算出するために対策範囲・工法とその実施時期の組合せを検討する。
機能保全コストの算定	各種診断結果による機能保全コストとして、①当面の整備にかかる費用、②今後の更新等に必要費用(想定)、③定期点検に必要な費用を合算し算定する。	機能保全コストの算定	各種診断結果による機能保全コストとして、①当面の整備にかかる費用、②今後の更新等に必要費用(想定)、③定期点検に必要な費用を合算し算定する。
機能保全計画の策定	施設機能の維持、対策実施の合理性、設備重要度との適合性、維持管理の容易さ等を総合的に勘案し機能保全計画を策定する。	機能保全計画の策定	施設機能の維持、対策実施の合理性、設備重要度との適合性、維持管理の容易さ等を総合的に勘案し機能保全計画を策定する。
農業水利ストック情報データの <input type="text" value="入力"/> 及び <input type="text" value="登録"/>	<u>上記の作業において作成した資料により</u> 農業水利ストック情報データベースの <input type="text" value="入力"/> 及び <input type="text" value="登録"/> を行う。	農業水利ストック情報データの <input type="text" value="作成"/>	農業水利ストック情報データベース <u>資料を作成する</u> 。
照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。
点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。
(注) [略]		(注) [略]	

改正後

現行

【電気設備】

作業項目	作業内容
事前調査	設備の状況や問題点等を把握するために、関係機関から事前に既存資料収集や聞き取り調査等を行う。これにより、現地での機能診断調査項目を決定し、健全度評価や劣化対策等に必要となる情報を収集・整理する。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。
概略診断 機能診断評価（健全度評価）	概略診断調査の結果と経過年数及び参考耐用年数で概略診断の評価を行う。
詳細診断 機能診断評価（健全度評価）	詳細診断調査の結果により、各構成機器について評価し、その結果から設備全体の健全度評価を行う。
機能保全対策の検討 性能低下予測	設備を構成する装置・部位ごとに対策が必要となる時期や方法を比較検討するとともに設備全体としての対策実施の要否、その時期を明らかにすることを目的として実施する。 劣化特性や劣化予測の把握の可否を十分に踏まえて将来予測（余寿命予測）を行う。
機能保全対策の検討	概略診断調査評価結果を踏まえ、当面必要となる機能保全対策の検討や、劣化傾向等を把握し、将来的な劣化検討を行う。
対策実施シナリオの作成	今後必要となる対策の時期、内容等を予測して、機能保全コストを算出するために対策範囲・工法とその実施時期の組合せを検討する。
機能保全コストの算定	各種診断結果による機能保全コストとして、①当面の整備にかかる費用、②今後の更新等に必要費用（想定）、③定期点検に必要な費用を合算し算定する。
機能保全計画の策定	施設機能の維持、対策実施の合理性、設備重要度との適合性、維持管理の容易さ等を総合的に勘案し機能保全計画を策定する。
農業水利ストック情報データの <input type="text" value="入力"/> 及び <input type="text" value="登録"/>	<u>上記の作業において作成した資料により農業水利ストック情報データベースの<input type="text" value="入力"/>及び<input type="text" value="登録"/>を行う。</u>
照査	照査計画に基づき、業務の節目ごとに照査を実施し、照査報告書の作成を行う。
点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。

(注) [略]

【電気設備】

作業項目	作業内容
事前調査	設備の状況や問題点等を把握するために、関係機関から事前に既存資料収集や聞き取り調査等を行う。これにより、現地での機能診断調査項目を決定し、健全度評価や劣化対策等に必要となる情報を収集・整理する。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。
概略診断 機能診断評価（健全度評価）	概略診断調査の結果と経過年数及び参考耐用年数で概略診断の評価を行う。
詳細診断 機能診断評価（健全度評価）	詳細診断調査の結果により、各構成機器について評価し、その結果から設備全体の健全度評価を行う。
機能保全対策の検討 性能低下予測	設備を構成する装置・部位ごとに対策が必要となる時期や方法を比較検討するとともに設備全体としての対策実施の要否、その時期を明らかにすることを目的として実施する。 劣化特性や劣化予測の把握の可否を十分に踏まえて将来予測（余寿命予測）を行う。
機能保全対策の検討	概略診断調査評価結果を踏まえ、当面必要となる機能保全対策の検討や、劣化傾向等を把握し、将来的な劣化検討を行う。
対策実施シナリオの作成	今後必要となる対策の時期、内容等を予測して、機能保全コストを算出するために対策範囲・工法とその実施時期の組合せを検討する。
機能保全コストの算定	各種診断結果による機能保全コストとして、①当面の整備にかかる費用、②今後の更新等に必要費用（想定）、③定期点検に必要な費用を合算し算定する。
機能保全計画の策定	施設機能の維持、対策実施の合理性、設備重要度との適合性、維持管理の容易さ等を総合的に勘案し機能保全計画を策定する。
農業水利ストック情報データの <input type="text" value="作成"/>	農業水利ストック情報データベース <input type="text" value="資料を作成する"/> 。
照査	照査計画に基づき、業務の節目ごとに照査を実施し、照査報告書の作成を行う。
点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。

(注) [略]

4 参考歩掛

4-1 [略]

4-2 水門設備における機能診断

- 1)・2) [略]
- 3) 作業項目別算定式

作業項目別の算定式は、表-4・2・2による。

表-4・2・2 作業項目別算定式 (人)

作業項目	作業項目別算定式 (y)		xの範囲 (同一地区)	xの定義
	頭首工ゲート	水路ゲート		
事前調査	0.19x+0.57	0.13x+1.41	頭首工ゲート 3~25 水路ゲート 3~50	門数(門)
概略診断 機能診断評価(健全度評価)	0.44x+0.68	0.30x+0.97		
詳細診断 機能診断評価(健全度評価)	-	-		
機能保全対策の検討 性能低下予測	0.12x+1.48		頭首工ゲート、 水路ゲート共 3~50	
機能保全対策の検討	0.20x+2.46			
対策実施シナリオの作成	0.24x+2.93			
機能保全コストの算定	0.27x+3.42			
機能保全計画の策定	0.18x+2.30			
農業水利ストック情報データの <input style="color:red" type="text" value="入力"/> 及び登録	0.09x+0.34			
照査	-			
点検取りまとめ	0.10x+1.36			

(注) 1. ~3. [略]

4) 職種別労務構成比率

作業項目別の職種別労務構成比率は、表-4・2・3による。

表-4・2・3 職種別労務構成比率一覧表

作業項目	ゲート区分	職種別労務構成比率 (%)						計
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	
事前調査	頭首工	-	-	100	-	-	-	100
	水路	-	-	100	-	-	-	100
概略診断 機能診断評価(健全度評価)	頭首工	-	15	47	38	-	-	100
	水路	-	15	46	39	-	-	100
詳細診断 機能診断評価(健全度評価)	-	-						-
機能保全対策の検討 性能低下予測	-	-	6	19	26	27	22	100
機能保全対策の検討	-	-	6	19	26	27	22	100

4 参考歩掛

4-1 [略]

4-2 水門設備における機能診断

- 1)・2) [略]
- 3) 作業項目別算定式

作業項目別の算定式は、表-4・2・2による。

表-4・2・2 作業項目別算定式 (人)

作業項目	作業項目別算定式 (y)		xの範囲 (同一地区)	xの定義
	頭首工ゲート	水路ゲート		
事前調査	0.19x+0.57	0.13x+1.41	頭首工ゲート 3~25 水路ゲート 3~50	門数(門)
概略診断 機能診断評価(健全度評価)	0.44x+0.68	0.30x+0.97		
詳細診断 機能診断評価(健全度評価)	-	-		
機能保全対策の検討 性能低下予測	0.12x+1.48		頭首工ゲート、 水路ゲート共 3~50	
機能保全対策の検討	0.20x+2.46			
対策実施シナリオの作成	0.24x+2.93			
機能保全コストの算定	0.27x+3.42			
機能保全計画の策定	0.18x+2.30			
農業水利ストック情報データの <input style="color:red" type="text" value="作成"/>	0.09x+0.34			
照査	-			
点検取りまとめ	0.10x+1.36			

(注) 1. ~3. [略]

4) 職種別労務構成比率

作業項目別の職種別労務構成比率は、表-4・2・3による。

表-4・2・3 職種別労務構成比率一覧表

作業項目	ゲート区分	職種別労務構成比率 (%)						計
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	
事前調査	頭首工	-	-	100	-	-	-	100
	水路	-	-	100	-	-	-	100
概略診断 機能診断評価(健全度評価)	頭首工	-	15	47	38	-	-	100
	水路	-	15	46	39	-	-	100
詳細診断 機能診断評価(健全度評価)	-	-						-
機能保全対策の検討 性能低下予測	-	-	6	19	26	27	22	100
機能保全対策の検討	-	-	6	19	26	27	22	100

改正後

対策実施シナリオの作成	—	—	11	29	33	27	—	100
機能保全コストの算定	—	—	9	32	32	27	—	100
機能保全計画の策定	—	—	18	44	38	—	—	100
農業水利ストック情報データの 入力及び登録	—	—	—	—	49	51	—	100
照査	—	—						—
点検取りまとめ	—	—	30	28	—	42	—	100

4-3 [略]

4-4 用排水ポンプ設備における機能診断

- 1)・2) [略]
3) 作業項目別算定式
作業項目別の算定式は、表-4.4.2による。

表-4.4.2 作業項目別算定式

作業項目	作業項目別算定式 (y)	xの範囲 (同一地区)	xの定義
事前調査	1.05 x + 0.27	1~10	台数 (台)
概略診断 機能診断評価 (健全度評価)	0.67 x + 1.51		
詳細診断 機能診断評価 (健全度評価) (簡易内部診断)	1.03 x + 1.82		
機能診断評価 (健全度評価)	—		
機能保全対策の検討 性能低下予測	0.13 x + 0.54		
機能保全対策の検討	0.29 x + 1.23		
対策実施シナリオの作成	0.30 x + 1.29		
機能保全コストの算定	0.44 x + 1.88		
機能保全計画の策定	0.41 x + 1.73		
農業水利ストック情報データの <input style="color:red" type="text"/> 入力 及び登録	0.12 x + 0.39		
照査	—		
点検取りまとめ	1.74		

(注) 1. ~4. [略]

4) 職種別労務構成比率

作業項目別の職種別労務構成比率は、表-4.4.3による。

表-4.4.3 職種別労務構成比率

作業項目	職種別労務構成比率 (%)						計
	技師長	主任 技師	技師A	技師B	技師C	技術員	
事前調査	—	—	40	60	—	—	100

現行

対策実施シナリオの作成	—	—	11	29	33	27	—	100
機能保全コストの算定	—	—	9	32	32	27	—	100
機能保全計画の策定	—	—	18	44	38	—	—	100
農業水利ストック情報データの 作成	—	—	—	—	49	51	—	100
照査	—	—						—
点検取りまとめ	—	—	30	28	—	42	—	100

4-3 [略]

4-4 用排水ポンプ設備における機能診断

- 1)・2) [略]
3) 作業項目別算定式
作業項目別の算定式は、表-4.4.2による。

表-4.4.2 作業項目別算定式

作業項目	作業項目別算定式 (y)	xの範囲 (同一地区)	xの定義
事前調査	1.05 x + 0.27	1~10	台数 (台)
概略診断 機能診断評価 (健全度評価)	0.67 x + 1.51		
詳細診断 機能診断評価 (健全度評価) (簡易内部診断)	1.03 x + 1.82		
機能診断評価 (健全度評価)	—		
機能保全対策の検討 性能低下予測	0.13 x + 0.54		
機能保全対策の検討	0.29 x + 1.23		
対策実施シナリオの作成	0.30 x + 1.29		
機能保全コストの算定	0.44 x + 1.88		
機能保全計画の策定	0.41 x + 1.73		
農業水利ストック情報データの <input style="color:red" type="text"/> 作成	0.12 x + 0.39		
照査	—		
点検取りまとめ	1.74		

(注) 1. ~4. [略]

4) 職種別労務構成比率

作業項目別の職種別労務構成比率は、表-4.4.3による。

表-4.4.3 職種別労務構成比率

作業項目	職種別労務構成比率 (%)						計
	技師長	主任 技師	技師A	技師B	技師C	技術員	
事前調査	—	—	40	60	—	—	100

改正後							
概略診断 機能診断評価（健全度評価）	—	19	45	36	—	—	100
詳細診断 機能診断評価（健全度評価） （簡易内部診断）	—	19	37	44	—	—	100
機能診断評価（健全度評価）	—						—
機能保全対策の検討 性能低下予測	—	11	21	30	25	13	100
機能保全対策の検討	—	11	21	30	25	13	100
対策実施シナリオの作成	—	11	23	33	33	—	100
機能保全コストの算定	—	6	27	34	33	—	100
機能保全計画の策定	—	18	43	39	—	—	100
農業水利ストック情報データの <u>入力及び登録</u>	—	—	—	64	36	—	100
照査	—						—
点検取りまとめ	—	25	31	—	44	—	100

（注） [略]

5) ポンプ形式別補正係数

ポンプ形式別の補正係数は、表-4・4・4による。

表-4・4・4 ポンプ形式別補正係数一覧表

作業項目	ポンプ形式別補正係数	
	横軸ポンプ	立軸ポンプ
事前調査	1.0	
概略診断 機能診断評価（健全度評価）	1.0	0.8
詳細診断 機能診断評価（健全度評価） （簡易内部診断）	1.0	—
機能診断評価（健全度評価）	—	
機能保全対策の検討 性能低下予測	1.0	
機能保全対策の検討	1.0	
対策実施シナリオの作成	1.0	
機能保全コストの算定	1.0	
機能保全計画の策定	1.0	
農業水利ストック情報データの <u>入力及</u> <u>び登録</u>	1.0	
照査	—	
点検取りまとめ	1.0	

現 行							
概略診断 機能診断評価（健全度評価）	—	19	45	36	—	—	100
詳細診断 機能診断評価（健全度評価） （簡易内部診断）	—	19	37	44	—	—	100
機能診断評価（健全度評価）	—						—
機能保全対策の検討 性能低下予測	—	11	21	30	25	13	100
機能保全対策の検討	—	11	21	30	25	13	100
対策実施シナリオの作成	—	11	23	33	33	—	100
機能保全コストの算定	—	6	27	34	33	—	100
機能保全計画の策定	—	18	43	39	—	—	100
農業水利ストック情報データの <u>作成</u>	—	—	—	64	36	—	100
照査	—						—
点検取りまとめ	—	25	31	—	44	—	100

（注） [略]

5) ポンプ形式別補正係数

ポンプ形式別の補正係数は、表-4・4・4による。

表-4・4・4 ポンプ形式別補正係数一覧表

作業項目	ポンプ形式別補正係数	
	横軸ポンプ	立軸ポンプ
事前調査	1.0	
概略診断 機能診断評価（健全度評価）	1.0	0.8
詳細診断 機能診断評価（健全度評価） （簡易内部診断）	1.0	—
機能診断評価（健全度評価）	—	
機能保全対策の検討 性能低下予測	1.0	
機能保全対策の検討	1.0	
対策実施シナリオの作成	1.0	
機能保全コストの算定	1.0	
機能保全計画の策定	1.0	
農業水利ストック情報データの <u>作成</u>	1.0	
照査	—	
点検取りまとめ	1.0	

4-5 [略]

4-5 [略]

4-6 電気設備における機能診断

4-6 電気設備における機能診断

1)~2) [略]

1)~2) [略]

3) 作業項目別算定式

3) 作業項目別算定式

作業項目別の算定式は、表-4・6・2による。

作業項目別の算定式は、表-4・6・2による。

表-4・6・2 作業項目別算定式

(人)

作業項目	作業項目別算定式 (y)	x の範囲 (同一地区)	x の定義
事前調査	0.04x+2.27	1~154	総数 (各単位)
概略診断 機能診断評価 (健全度評価)	0.06x+3.07		
詳細診断 機能診断評価 (健全度評価)	—		
機能保全対策の検討 性能低下予測	0.02x+0.67		
機能保全対策の検討	0.05x+1.95		
対策実施シナリオの作成	0.03x+2.25		
機能保全コストの算定	0.06x+2.65		
機能保全計画の策定	0.04x+1.95		
農業水利ストック情報データの <input style="color:red" type="text"/> 入力 <input style="color:red" type="text"/> 及び登録	0.01x+0.77		
照査	—		
点検取りまとめ	0.02x+0.99		

表-4・6・2 作業項目別算定式

(人)

作業項目	作業項目別算定式 (y)	x の範囲 (同一地区)	x の定義
事前調査	0.04x+2.27	1~154	総数 (各単位)
概略診断 機能診断評価 (健全度評価)	0.06x+3.07		
詳細診断 機能診断評価 (健全度評価)	—		
機能保全対策の検討 性能低下予測	0.02x+0.67		
機能保全対策の検討	0.05x+1.95		
対策実施シナリオの作成	0.03x+2.25		
機能保全コストの算定	0.06x+2.65		
機能保全計画の策定	0.04x+1.95		
農業水利ストック情報データの <input style="color:red" type="text"/> 作成	0.01x+0.77		
照査	—		
点検取りまとめ	0.02x+0.99		

(注) 1. ~ 5. [略]

(注) 1. ~5. [略]

4) 職種別労務構成比率

4) 職種別労務構成比率

作業項目別の職種別労務構成比率は、表-4・6・3による。

作業項目別の職種別労務構成比率は、表-4・6・3による。

表-4・6・3 職種別労務構成比率

作業項目	職種別労務構成比率 (%)						計
	技師長	主任 技師	技師A	技師B	技師C	技術員	
事前調査	—	—	24	39	37	—	100
概略診断 機能診断評価 (健全度評価)	—	23	39	38	—	—	100
詳細診断 機能診断評価 (健全度評価)	—						—
機能保全対策の検討 性能低下予測	—	9	20	25	26	20	100
機能保全対策の検討	—	9	20	25	26	20	100

表-4・6・3 職種別労務構成比率

作業項目	職種別労務構成比率 (%)						計
	技師長	主任 技師	技師A	技師B	技師C	技術員	
事前調査	—	—	24	39	37	—	100
概略診断 機能診断評価 (健全度評価)	—	23	39	38	—	—	100
詳細診断 機能診断評価 (健全度評価)	—						—
機能保全対策の検討 性能低下予測	—	9	20	25	26	20	100
機能保全対策の検討	—	9	20	25	26	20	100

改正後

対策実施シナリオの作成	—	7	18	27	26	22	100
機能保全コストの算定	—	5	19	26	30	20	100
機能保全計画の策定	—	21	40	39	—	—	100
農業水利ストック情報データの 入力及び登録	—	—	—	47	53	—	100
照査	—						—
点検取りまとめ	—	26	30	—	44	—	100

(注) [略]

現 行

対策実施シナリオの作成	—	7	18	27	26	22	100
機能保全コストの算定	—	5	19	26	30	20	100
機能保全計画の策定	—	21	40	39	—	—	100
農業水利ストック情報データの 作成	—	—	—	47	53	—	100
照査	—						—
点検取りまとめ	—	26	30	—	44	—	100

(注) [略]